

学校名	松代中学校	
ホームページURL	生徒数 700 名	
(1) テーマ 「私達の21世紀をみつめて」 ～具体的活動から多角的、多面的に 研究する～  「松代めぐり」 ～自分達の郷土を知ろう～  テーマの分類( ) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・ <input type="text" value="同一学年"/> ・3～4年 5～6年・学校・ その他( )  該当学年 2 年	
(3) 活動のねらい ・松代の史跡を巡る活動を通して、学び方やものの考え方を身につけ、問題解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育てる。		
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 1 時間 松代巡りについて学年集会 2 時間 班作りと班の係分担 3～4時間 班毎に自分達のテーマと見学場所の決定 5～8時間 班毎に松代めぐり、個人レポート作り  時数( 8 )		
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) 事前に松代にどのくらいの史跡があるかを商工会を通し調査。 調査結果から60以上の史跡があることが判明。その史跡の生徒配布用資料を作成。 生徒に資料を配付して、生徒の希望史跡を把握。 各班毎の決定箇所を教師の方で、危険箇所、場所の特定、管理人の方がおられる所 や個人お宅への挨拶を事前にした。その後、係で出した形式にそって資料を作成し、 班毎に配布し確認させた。 当日は、先生方を方面別に分け、学年全職員で巡視をした。		
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) 家庭へは、当日の日程等を書いたプリントを配布し、理解を求めた。 当日の生徒の動きを事前に把握し、担任及び巡視の分担の教師が生徒の動きの把握に 努める。 もしもの場合の連絡手段、教師の動きを事前に確認しておく。		
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・「松代巡り」では、修学旅行のタクシー見学が出来るか出来ないかを生徒自身にも自己 評価させ、学年全体で当日の生徒の姿からタクシー見学できるかできないか判断する。 ・事前の学習カード、そして、帰校後の学習のまとめの活動、レポート提出を通し、自 己評価と教師からの評価。		
(8) 成果と課題 <成果> 「松代巡り」については、松代という歴史のある地域性から、十分活動に堪えうる教 材が豊富であるということが分かった。生徒から自分の地域でありながら、知らないと ころが沢山あったという驚きの感想が多数寄せられた。事前のグループ毎のテーマから 史跡探訪に迫れば、中学生なりの学習が成立しそつである。 <課題> 一日使った総合的な学習をする場合、どのようなことが出来るかということから、今 回は松代巡りを試験的に取り入れてみた。成果の欄に書かれていることは上げられるが、 これを20時間～30時間というような長期の活動にまで発展させていくためには、学 年で学習開始からのしっかりした展望を持たないと、生徒の課題意識が継続しないであ らう。		

テーマの分類 横断的・総合的な課題( -ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境  
-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や  
学校の特色に応じた課題